

第12回 阪神高速事業アドバイザリー会議〔現場視察〕 実施概要

1. 実施概要

- 1) 開催日：2022年4月20日（水） 13:45～17:30
- 2) 観察場所：
 - ① 神戸線リニューアル工事現場（摩耶↔芦屋）
 - ② 交通管制室
- 3) 出席者：河合委員、正司委員、関委員、中浜委員、松坂委員（50音順）

2. 開催状況

① 神戸線リニューアル工事現場（摩耶↔芦屋）

神戸線リニューアル工事（摩耶↔芦屋間。2022年4月15日～4月25日）において、高性能床版防水工事やSFRC舗装工事等を観察。

② 交通管制室

交通管制室において、2021年度に導入した新たな交通管制システムを観察。



〔神戸線リニューアル工事現場 観察状況〕



〔交通管制室 観察状況〕

また、現場観察後に意見交換会を行い、委員より以下の意見が出された。

- *リニューアル工事の「見える化」は非常に重要である。道路の損傷状況や工事の進捗状況等を開示、広報することで、より多くのステークホルダーから工事の必要性などについての理解と信頼が得られると思う。
- *大阪湾岸道路西伸部等の整備にあたっては、既設構造物においては想定以上の負荷がかかっているという現状の課題を踏まえ、耐久性を高めるなどの対策を検討する必要がある。
- *大阪・関西万博開催期間中の交通マネジメントについて、人流や物流が滞らないよう、関係機関とともに対策の検討を進めてもらいたい。
- *サイバー攻撃に対して、高速道路も高度なセキュリティが求められる。交通管制システム等のセキュリティ対策は、物流機能を麻痺させないためにも非常に重要である。

- *ポスターや映像などによるビジュアルな広報は阪神高速のイメージアップにつながる。大阪・関西万博などを広報の機会として捉え、さらに阪神高速の見える化を進めて欲しい。
- *女性が活躍できる環境を整えることは重要である。採用や管理職登用における女性比率を高めるなど、ダイバーシティ&インクルージョンを推進することで多角的な視点・発想が得られるため、引き続き推進してもらいたい。

-以 上-